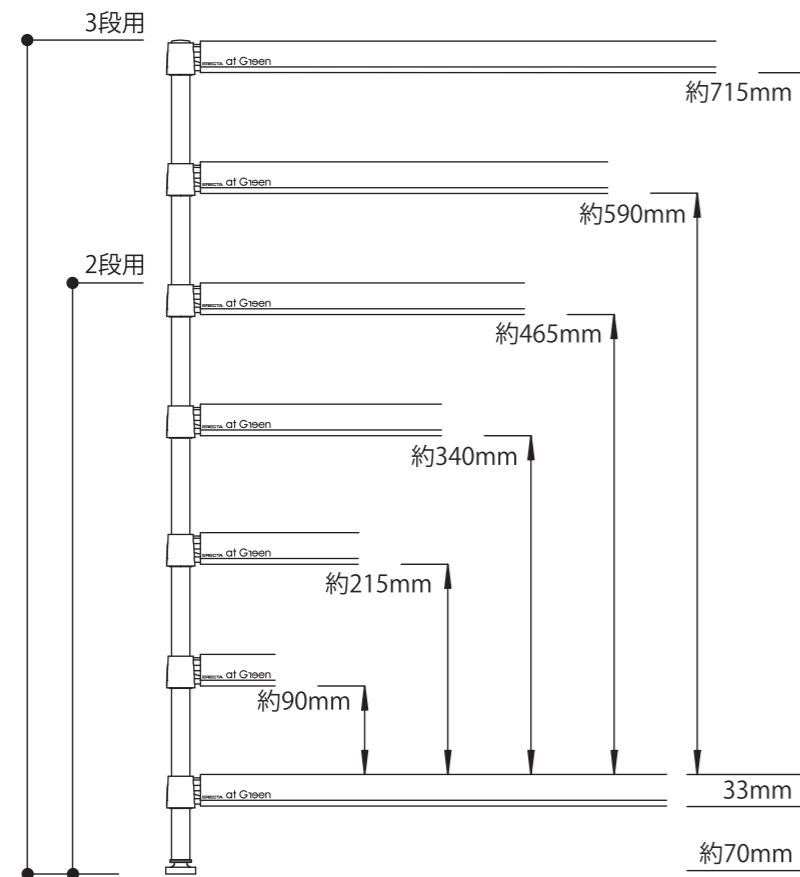


## お手入れ方法

- 柔らかい布またはスポンジで全体を水またはぬるま湯で軽く拭いてください。それでも落ちない場合は薄めた中性洗剤を使い、軽く洗い流してください。
- 水気を含んだ布などで拭いたあと、水分を残さないように乾いた布で良く拭き取ってください。(さびなどの原因になります。)
- シンナー等の有機溶剤の使用や、金属製のブラシやスチールワールなどでこすらないでください。表面を傷つけ劣化を早めます。
- 泥受けに溜まる土やホコリはこまめに清掃してください。
- 屋外で使用した当製品を屋内で使用の際は、泥受けの水抜き部分をよく洗浄してください。土やホコリでボルト栓が閉まらない原因になります。
- 季節により水を溜めていると虫の発生が考えられますので、こまめに清掃されることをお勧めいたします。

## 棚間寸法

■可動することで棚間寸法が変わる為、そのサイズを明記しています。置きたい物が入るか確認したい時や、新しく棚を追加する際にお使いください。



※棚間寸法は目安です。  
(組み立て方によって多少誤差が生じます。)

# フラワーラック組立説明書

この度は、at Green「フラワーラック」をお買い上げいただきましてありがとうございました。  
本製品を安全にお使いいただくために、この説明書をよくお読みください。内容をご理解のうえ警告、注意事項を遵守していただくようお願いいたします。

## ご使用前に必ずお読みください

- **組み立て前に部品の不足・破損がないか、必ずご確認ください。**
- ※ **製品には万全を期しておりますが、万一部品が不足・破損していた場合は、組み立てを行わず弊社カスタマーサービスへお問い合わせください。**
- **組み立ては、この説明書をよくお読みになり手順に従って正しく組み立ててください。**
- **誤った組み立ては破損やケガの原因になります。**



警告

- 耐荷重を超えて物を載せないでください。  
耐荷重は、棚1段あたり垂直荷重(等分布)20kgです。破損やケガを招く恐れがありますので厳守してください。
- 踏み台にするなど、棚の上には絶対に乗らないでください。
- 屋外で使用される際は設置場所に十分注意してください。集合住宅にお住まいの方はその建物の管理規定にしたがってお使いください。
- 傾斜した場所や、下が柔らかい場所など、不安定な場所には設置しないでください。物が落下して破損したり、転倒してケガをするおそれがあります。
- フラワーラックを移動させる際は設置物を必ず降ろして移動してください。
- 強風時にはフラワーラックごと安全な場所に移動してください。
- 当社製品ご使用の際、製品不良以外で起きた怪我や事故に関しましては一切責任を負えません。



注意

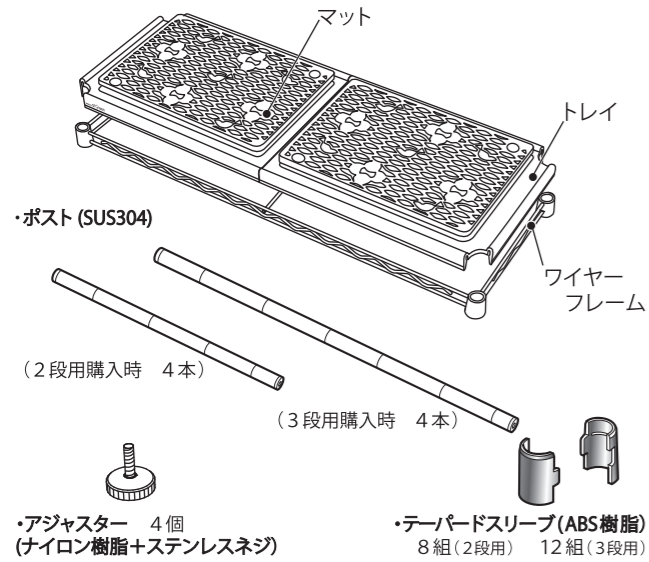
- テーパードスリーブがずれたり、棚が水平になっていないなど、組み立てが不十分な場合はそのまま使用せず、もう一度組み立てし直してください。
- 柔らかく傷つきやすい床面の場合、キズつけてしまうおそれがありますので、引きずったりしないでください。
- 棚の位置変更や清掃など、棚に関する作業は設置物を全て下してから行ってください。物品の破損やケガの原因となります。
- 背の高い物や重量の重い物を載せる場合は棚板の位置を低くし、下段に置くようにしてください。バランスが崩れ転倒などにより思わぬ怪我や破損の原因になります。
- 必ず同梱されている棚板のすべてを取り付けてください。また棚板は最上段、最下段に必ず取り付けてください。棚板を減らすことは安定性が悪くなり、転倒や破損の原因になります。
- この構成部品はフラワーラック専用の部品になります。フラワーラック以外の弊社製品や他社商品との互換性はございません。
- 製品の改造は機能低下の原因となりますので、絶対におやめください。
- 組み立て完成後、棚板を持って移動しないでください。棚が外れる可能性があります。
- トレイの外寸サイズを超えるようなモノを設置することや、偏って荷重をかけることは、バランスが崩れ転倒や破損の原因となりますので、おやめください。
- フラワーラックに載せている植物に栄養剤、殺虫剤、消毒液を使用する際は、植物を棚から降ろして作業してください。フラワーラックの耐食性、耐候性を弱めるおそれがあります。
- 屋外で製品を使用する場合は、トレイ裏面にあるボルト栓を取り外してお使いください。その際、取り外したボルト栓は大切に保管してください。また屋内で製品を使用する場合は、ボルト栓は固く締めてください。緩んでいると水漏れが起きる原因となります。
- 屋内でフラワーラックをご使用の際は、水受け皿のご利用をおすすめします。
- 屋内で、植物に注ぐ水の量や注ぎ方にはご注意ください。周りに水がかかったり、こぼれたりする可能性があります。
- ワイヤースタンドの亜鉛メッキ/クリア塗装は鉄材のさび・腐食を抑制するもので、完全に防止するものではありません。使用環境やご使用年数によりさび・腐食が発生いたします。(ステンレス製ポストも同様です。)
- トレイとマットの嵌合性には個体差があります。
- トレイ、およびマットは樹脂製のため経年劣化により脆くなったり、色に変色致します。追加購入された場合、当製品と質感や色に違いが出ます。

## 組み立てる前に

### 構成部品

※ご用意いただくもの：M6スパナまたはペンチ

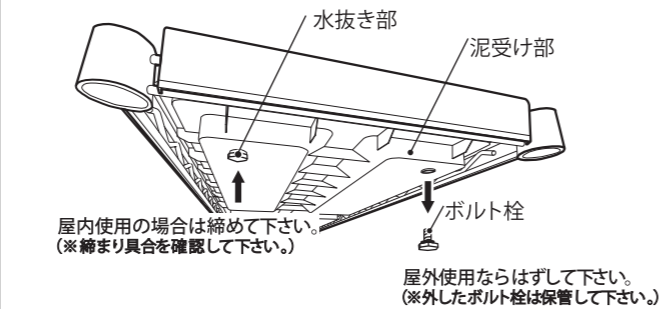
- ・フラワーラック用棚板  
ワイヤーフレーム(スチール/亜鉛メッキクリアー塗装) 3段用(3枚)  
+トレイ(PP)+マット(PP)+ボルト栓(SUS) 2段用(2枚)



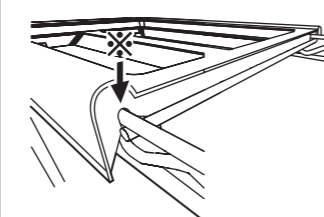
※フラワーラック用棚板は追加購入いただけます。構成部品はフラワーラック用棚板(1枚)とテーパードスリーブ(4組)になります。

### 各部詳細

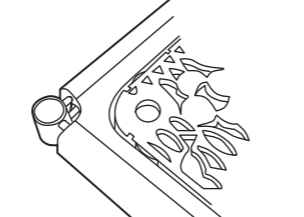
#### ■フラワーラック用棚板 泥受け



#### ■ワイヤーフレームとトレイ



#### ■トレイとマット

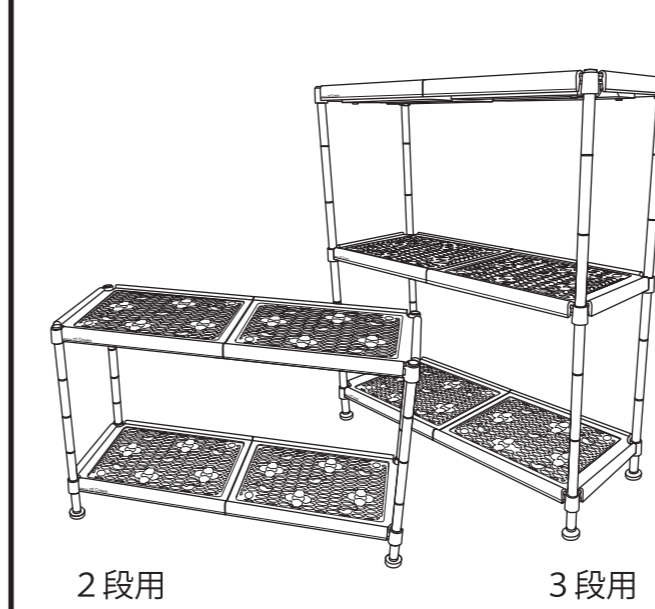


トレイの泥受けには水抜きがありますが、溜水を全て排水するものではありません。  
ボルト栓の締め付けにはスパナやペンチをご利用下さい。

## 取扱いについて

### ■各部の取扱いについて

※完成図(例)です。

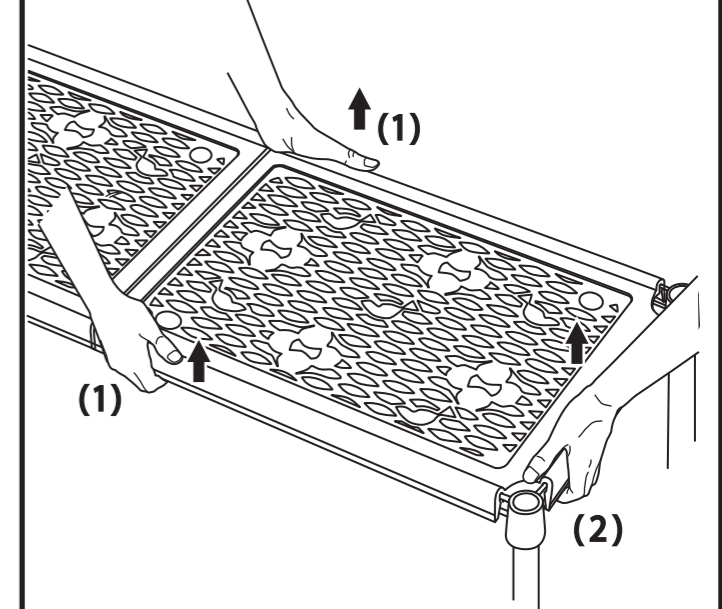


トレイとマットは取り外しができますので、丸洗いや、拭き掃除などが可能です。各部品の取り外し方は以降の各外し方を参照下さい。  
外したあとに、再度取付ける時は各部品がしっかりとまわっているか確認して下さい。トレイ、マットの掛りが悪いと風雨で飛ばさる可能性があります。

※ご注意 清掃時以外でのトレイやマットの取り外しはおやめ下さい。

### ■トレイの外し方

※引掛けを外しながら引き上げる。



※(2)はコーナリング付近が外しやすいです。

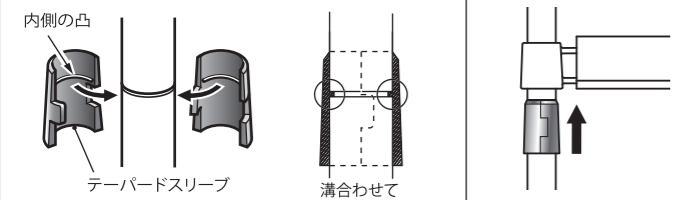
ワイヤーフレームからトレイをはずす場合は、トレイの(1)を外してから、(2)の順ではずすとはずし易いです。無理に引き上げると、補強リブにある引掛け爪が破損する場合がございます。

※ご注意 トレイに水が残っていないか、確認して下さい。残っている場合、はずす前に雑巾等で拭き取るか、水がこぼれないよう慎重に取り外して下さい。

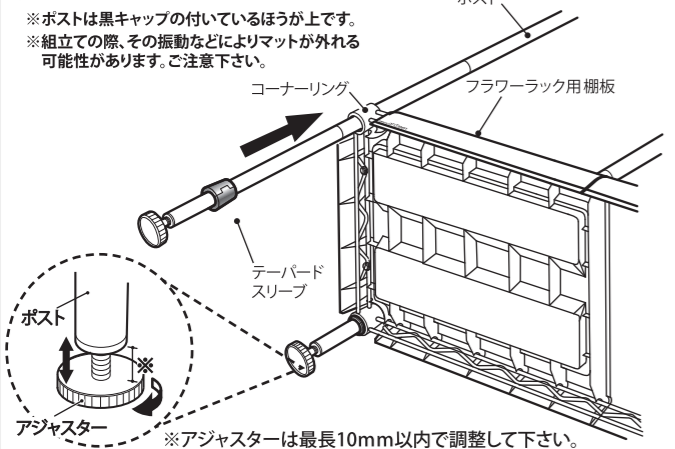
## 組み立て方

### 1 組み立ては最下段から

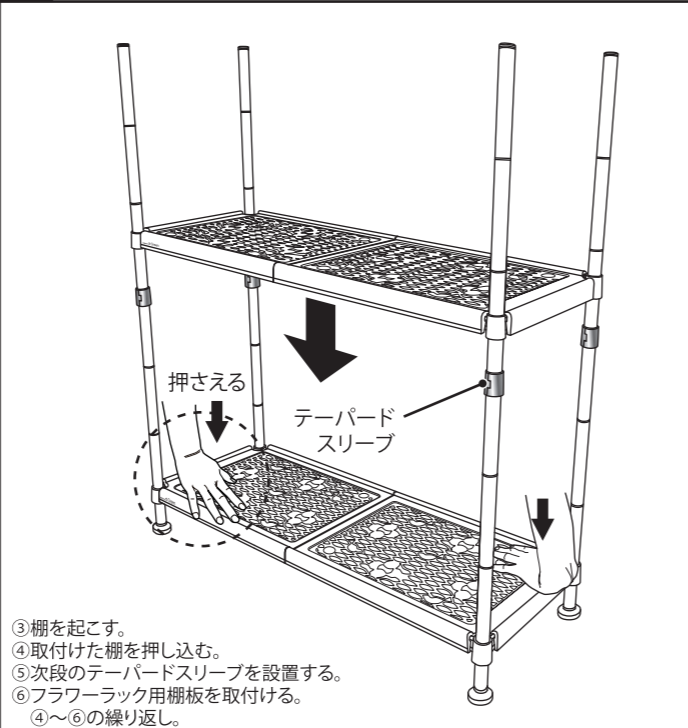
①最初にテーパードスリーブをセット ※上下の向きがございませ、ご注意ください。



②ポストを棚に差し込む

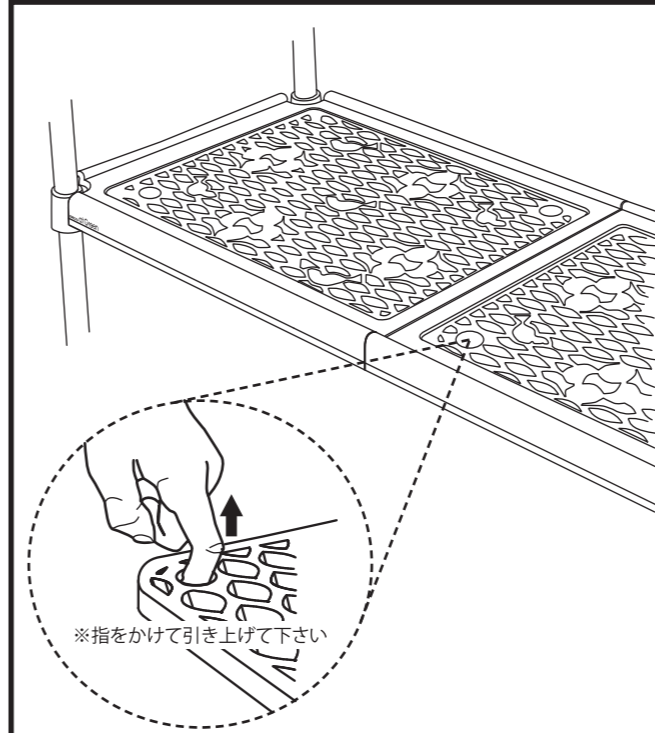


### 2 2段目以上の棚を組み立て ※イメージは3段用です。



最下段の取付ができましたら、棚を起こしコーナーリング付近をしっかりと手で押し込んで下さい。2段目以上の棚もテーパードスリーブを先に設置し同じ要領で取付けます。  
同梱されている全ての棚を取り付け、最後に各部品のはまり具合を確認したら完成です。

### ■マットの外し方

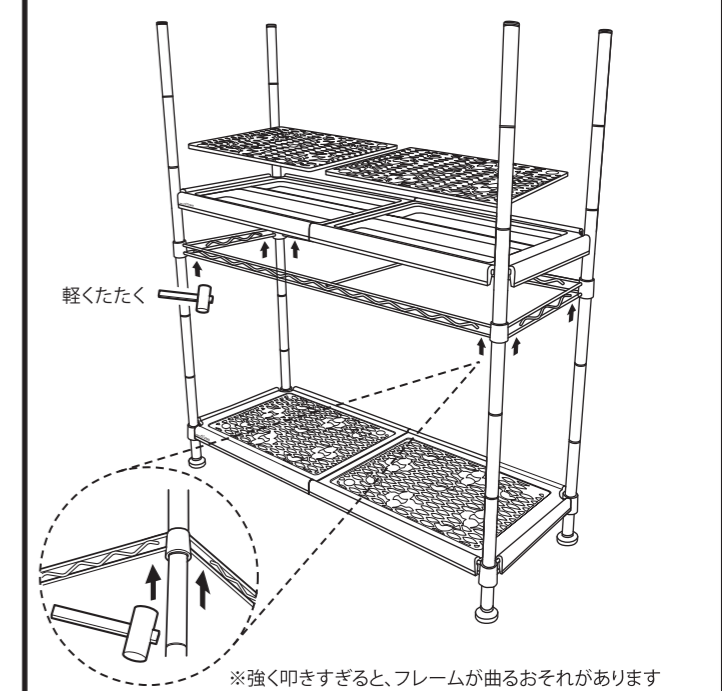


取り外す時は、マット両端にある円形に必ず指を引掛けて、片側ずつ取り外して下さい。(その他の開口部に指を引掛けるのはおやめ下さい。)

※ご注意 取り付ける際は表裏がございませ、間違わないようご確認下さい。(※フラットな面が表になります。)

### ■棚の外し方

※トレイ、マットは取り外して行って下さい



長期間使用されますと、テーパードスリーブにコーナーリングが食いつき抜けにくくなってしまふ事がありますので、その際はゴムハンマーなどでコーナーリング付近を下からたたいて下さい。ゴムハンマーや木槌がない場合は必ず当て布をして金槌などをご利用下さい。

※ご注意 ワイヤーフレーム、トレイ、マットは一体化した状態で梱包されています。そのまま組み立てて下さい。床面の養生などを施して組み立てて下さい。

※ご注意 ポストを差し込む際は、指などを挟まないようご注意ください。